

仲間づくり教養コース ②国際社会学

アメリカトランプ号出航一年、その政策を読み解く

第1回 トランポノミクスの光と影

トランプ政権下の経済政策

日時 1月13日(土) 10:00 a.m.~

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 永田 雅啓 氏 (麗澤大学 経済学部特任教授)

受講生 44名

第40期の「国際社会学講座」が、例年より3ヶ月遅れでスタートしました。アメリカにトランプ大統領が誕生して、間もなく1年が経とうとしています。

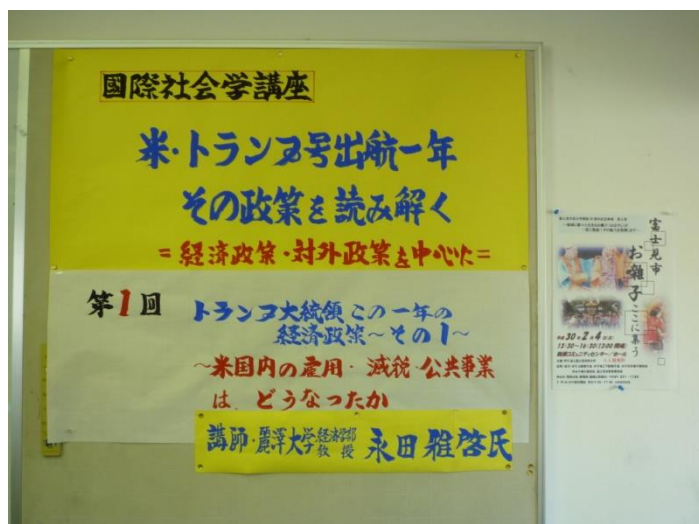
そこで今回は、「アメリカトランプ号出航一年、その政策を読み解く」と題して、前半の3回は、経済面から、そして後半の3回は政治面から、お二人の講師がその政策を読み解きます。

前半の講師を務めて頂くのは、麗澤大学経済学部経済学科特任教授である永田雅啓氏に、ご担当頂きます。同氏は昨年3月まで永年に亘り、埼玉大学経済学部教授を務められ、富士見市民としても親近感を覚える方であります。

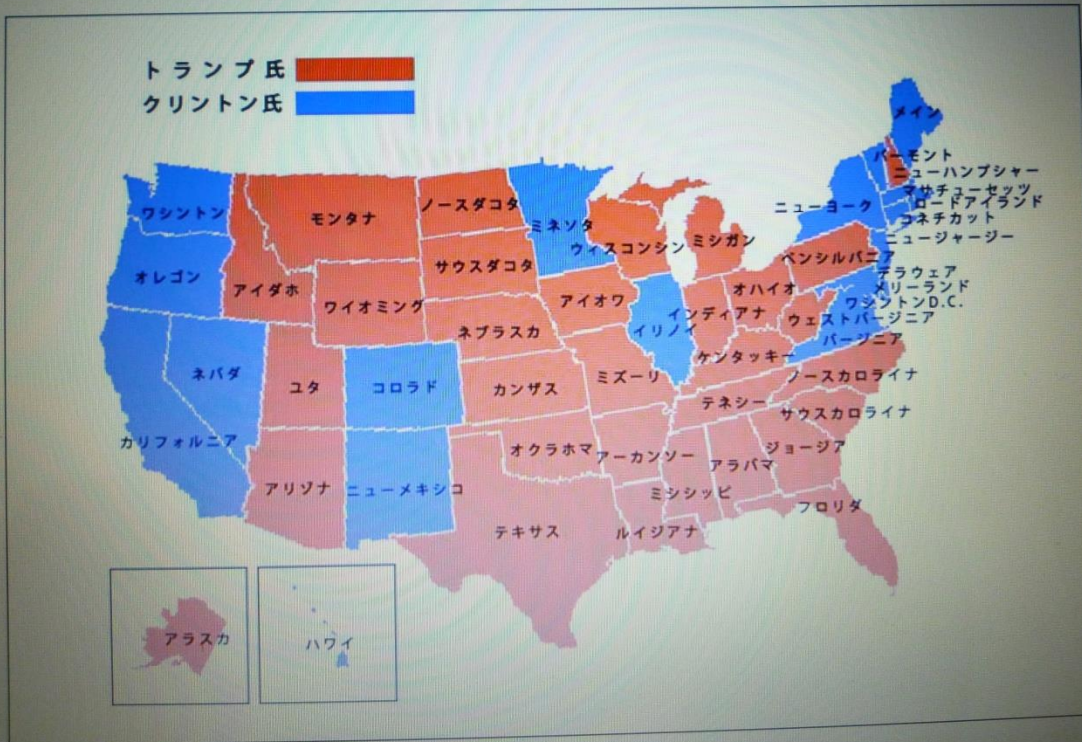
第1回目は、「トランポノミクスの光と影」と称して「トランプ政権下の経済政策」について、講義頂きました。

永田講師は、一方的な講義ではなく、受講生と対話型で講義を進められました。講義内容の説明途中でも、どんどん質問を受けられ回答されるなどして受講生を引き込みました。従って、あっという間に時間が来てしまいました。

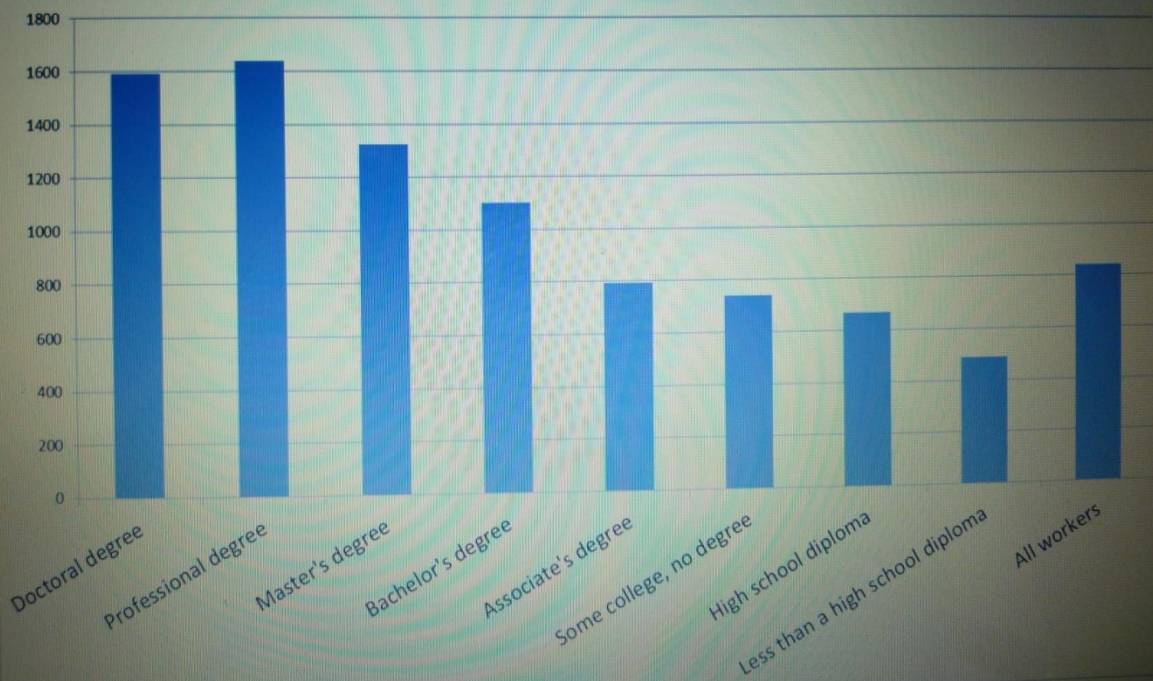
冒頭「皆さんは、トランプ氏は特異な人であると、嫌という程聴いていると思います。特異な人は何処の世界にも居るのです。そのことよりも、その特異な人を大統領に選んだアメリカ人こそ特異なのです。それほど、世界の強国であるアメリカ社会が病んでいるということなのです」と話され受講生一同納得の表情でスタートしました。



アメリカ大統領選挙結果地図



アメリカの学歴別収入
(Median weekly earnings in 2014, US\$)



米国の所得分配格差 (90th/10th)



アメリカの学歴別失業率 (2005-2016年)

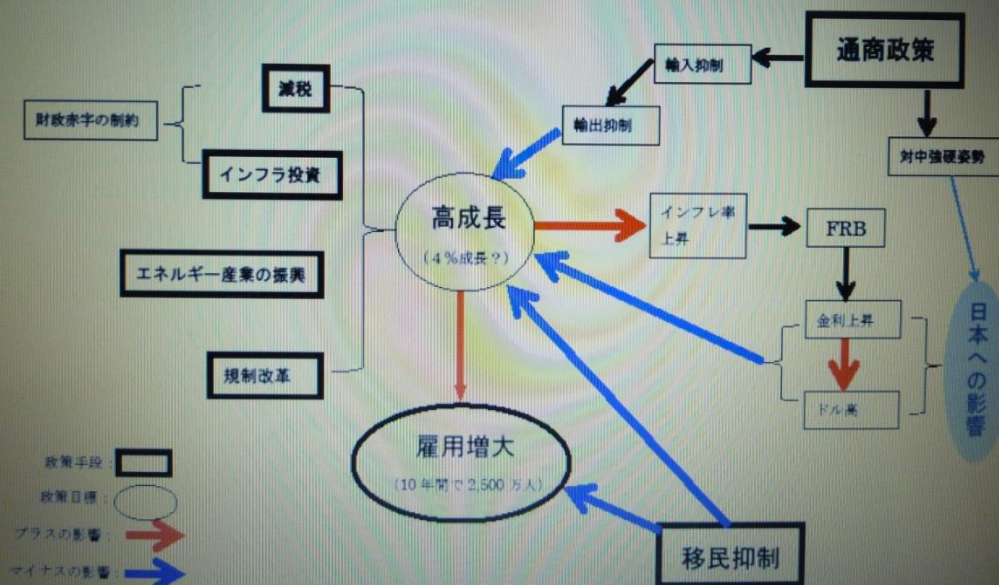


トランプ政権の主要経済政策



政権発足時の6文書より

トランプノミクスの政策相互関連図



主要経済政策の経済成長率4%達成の条件

●短期的

⇒需要面の要因から、短期的にはあり得る

ただし、げんざいは完全雇用に近い水準 労働参加率の上昇が必要

●長期的

⇒供給面の制約から、長期的には困難 民間設備投資が大きく伸びれば可能？

生産性の伸びは、2%程度 人口の伸びは、1%程度



<上段：ユーモアを交えながら、判り易い講義をされる永田講師>

<下段：永田講師の、明瞭な講義に聴き入る44名の受講生>

【文責：秋山孝昭】